



地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行のCSR



地域の皆さまとのお取引状況



地域経済のために

海外業務

地域社会のために

地球環境のために



地域の皆さまへの貸出の状況

貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合は87.8%、貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.4%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

87.8%

岐阜・愛知県内での
貸出金残高
3兆4,634億円

岐阜・愛知県内での 貸出金残高割合

(岐阜・愛知県内での
貸出金残高/貸出金残高)
(平成28年3月31日現在)
貸出金残高 3兆9,435億円

99.4%

岐阜・愛知県内での
貸出先数
148,674先

岐阜・愛知県内での 貸出先数割合

(岐阜・愛知県内での
貸出先数/貸出先数)
(平成28年3月31日現在)
貸出先数 149,512先

Local
創生

地域の
皆さまとの
お取引状況

地元の皆さまに
満足いただける
ように
がんばっています!



中小企業等に対する貸出の状況

貸出金残高に占める中小企業等への貸出金残高割合は74.4% (2兆9,341億円) です。

97.2%

岐阜・愛知県内での
中小企業等貸出金残高
2兆8,543億円

岐阜・愛知県内での 中小企業等貸出金残高割合

(岐阜・愛知県内での
中小企業等貸出金残高/
中小企業等貸出金残高)
(平成28年3月31日現在)
中小企業等貸出金残高
2兆9,341億円

99.5%

岐阜・愛知県内での
中小企業等貸出先数
148,304先

岐阜・愛知県内での 中小企業等貸出先数割合

(岐阜・愛知県内での
中小企業等貸出先数/
中小企業等貸出先数)
(平成28年3月31日現在)
中小企業等貸出先数
148,944先

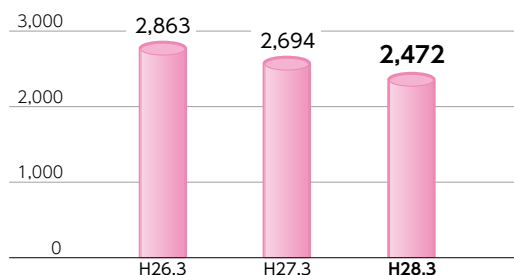
岐阜・愛知県内を
中心とした
活動をしているよ!



信用保証協会保証債務残高

信用保証協会保証債務残高

(単位: 億円)



岐阜・愛知県内での預金等残高割合

平成28年3月31日時点での
預金等残高5兆3,502億円のう
ち、岐阜・愛知県内での預金等残
高は5兆3,040億円で、99.1%
を占めています。

99.1%

岐阜・愛知県内での
預金等残高
5兆3,040億円

(岐阜・愛知県内での
預金等残高/
預金等残高)

(平成28年3月31日現在)
預金等残高
5兆3,502億円
※預金等には譲渡性預金を
含みます。





地域経済のために

十六銀行は、
地域経済の活性化を
支援しています！



各種協定の締結および具体的施策の実施

各自治体は地方版総合戦略の策定を完了し、平成28年度は具体的施策の実施を加速する段階に入ります。

■岐阜市と「岐阜市の地方創生の推進に関する連携協定」を締結

平成28年2月、岐阜市と地方創生に関する協定を締結しました。第1弾として、岐阜市シティプロモーションへの協力として、当行愛知県内店舗において岐阜市を紹介するパンフレットの配置、さらに、名古屋駅前支店においては、店舗内ビジョンにより岐阜市の魅力をPRする映像を放映しています。



■東濃信用金庫と「地方創生にかかる包括連携協力に関する協定」を締結

平成28年3月、東濃信用金庫と岐阜県・愛知県に広く営業展開し、海外にもネットワークを持つ当行が、業態の垣根を越えて連携協力することとなりました。

美濃焼のブランディング、リニア中央新幹線を活かした地域活性化などを目指します。



東海三県
地銀初！
信用金庫との
協定締結

■めぐみの農業協同組合と「地方創生の深化に向けた農業振興に関する連携協定」を締結

平成28年3月、めぐみの農業協同組合と連携協力し、岐阜県中濃地域における農業分野の課題解決に取り組むことで一致しました。農産物の活用に向けて、各々の役割に応じたソリューションを提供し、地域活力の創出を目指します。



東海三県
地銀初！
JAとの
協定締結

「NOBUNAGA ファーストステージ」を創設

地域における創業マインドを高め、ニュービジネスの創出、育成をはかるべく、創業者向けの助成金である「第1回 NOBUNAGA ファーストステージ」を創設し、ビジネスプランを公募しました。

数多くの応募の中から、「創業への熱意」「斬新なアイデア」「地域貢献度」「事業の可能性」等により総合的に判断し、4社のビジネスプランを選定しました。

今後、当行の創業サポートデスクを中心に、事業化推進に向けたフォローを実施していきます。



十六銀行は
地域発の創業支援にも
積極的よ！



成約精度の高い 「サプライヤー探索サービス」が好評です！

当行の情報ネットワークを活用した新しい「協力会社の探し方」です。キラリと光る技術・商材・サービスを持ったサプライヤーを、当行の店舗ネットワーク網で効率的に探すことが可能です。

平成28年3月31日時点で、商談会の開催回数は延べ134回、延べ商談数は2,000件を突破しました。



ビジネスマッチング
でも他の銀行と
差別化が出来ている
みたいだね。



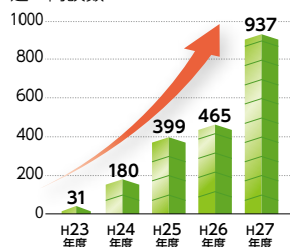
以下のようなサプライヤー探索ニーズに対応できます

- ☑ 難加工や処理を発注したい。
- ☑ 2社購買・3社購買にしたい。
- ☑ 小ロットや試作品製作ができる企業を探したい。
- ☑ 小回りのきく近隣の業者を探したい。
- ☑ 新しい開発パートナーを探したい。
- ☑ 未だ知らない名産品・特産品を探したい。
- ☑ 生産性向上のためのパートナーを探したい。

商談回数（平成28年3月31日現在）

	商談会回数	延べ商談数
H23年度	3	31
H24年度	13	180
H25年度	27	399
H26年度	35	465
H27年度	56	937
計	134	2,012

延べ商談数





地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行のCSR

地域の皆さまとのお取引状況

地域経済のために

海外業務

地域社会のために

地球環境のために



地域経済のために

株式会社日本M&Aセンターより「バンクオブザイヤー」を受賞

平成27年6月、株式会社日本M&Aセンター主催の第3回バンクオブザイヤー表彰式が行われ、当行は東海地区の地銀としては初となる最高賞である「バンクオブザイヤー」を受賞しました。前年度の株式会社日本M&Aセンターとの協働において、成約・受託ともに最大級の優れた実績をあげたことなどが評価されました。

バンクオブザイヤーは銀行にとって、とても栄誉ある賞なんだよ。



「じゅうろく六次産業化ファンド」出資

六次産業化を支援する官民ファンド「じゅうろく六次産業化ファンド投資事業有限責任組合」は、平成27年7月、株式会社マンナン工房ひだに対し、東海三県第1号として出資を実施し、平成27年10月には、オークヴィレッジ株式会社に対し、東海三県第2号となる出資を実施しました。平成28年3月には、ミチナル株式会社に対しても出資を決定しました。各事業は、コンニャクイモ、広葉樹、廃棄野菜の有効活用を通して、地方創生に貢献する事業であり、当ファンドによる支援が地域経済の活性化を実現するものです。

森林資産見える化プロジェクトに関する包括的連携協定締結

平成27年9月、株式会社インフォファームと極東森林開発株式会社ならびに当行が「森林資産見える化プロジェクトに関する包括的連携協定」を締結しました。本プロジェクトは、岐阜県土の8割の面積を占める森林資産の「見える化」を実現したシステムを活用して森林整備の促進をはかり、林業の活性化のみならず、森が有する多面的機能を維持・向上させ、行政が目指す「恵みの森づくり」に資するものです。



「地方銀行フードセクション2015」の開催

平成27年11月、東京ビッグサイトにて、地域の食品産業の発展をサポートすることを目的に、全国の地銀41行が共催し、当行も初参加しました。

販路拡大を希望する「食」関連の企業など、各行のお取引先さま585社が出展し、百貨店、食品スーパーなど延べ1万1千名を超える食品担当バイヤーが来場され、商談が活発に行われました。

私たちの地域の美味しいものがいっぱいそろいました！



観光活性化マザーファンドとの協調融資の実施

平成27年4月、有限会社船坂酒造店による通年醸造を可能とする「プロジェクト四ツ星」の取組みに対し、観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合とともに、協調融資を実施しました。日本を代表する観光地の一つである高山地域の一層の活性化に資する「プロジェクト四ツ星」に対し、地域の金融機関である当行が、全国各地の観光活性化に取り組む当ファンドと連携したスキームです。





地域の中核産業の
力になることが地方創生にも
つながるんだよね。

東海地域中核産業支援ファンドにより 中核産業を営む地域の企業を応援します！

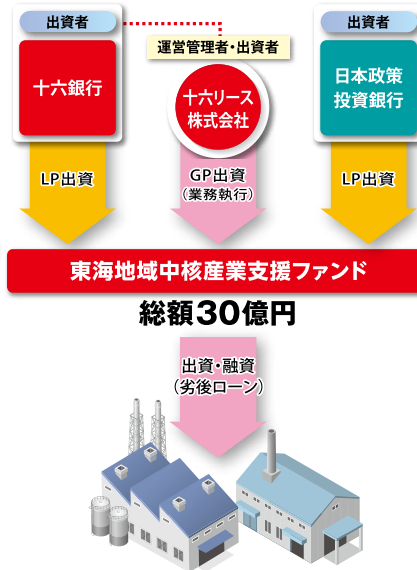
平成28年1月、東海地域の中核産業育成、地方創生に資することを目的として、「東海地域中核産業支援ファンド」を組成しました。

本ファンドは、当行営業エリア内において、事業基盤の再構築・強化から成長・拡大を見込む企業（主に航空機部品・自動車部品・医療機器等の製造・組立・販売業者等）を支援するため、劣後ローンや種類株式等のスキームにより、リスクマネーや成長資金を供給するものです。

当行は、既に組成済みの他のファンドも含めて、資本支援の観点より、地域経済の活性化に取り組んでいきます。



●スキーム図



岐阜県との移住定住促進協定締結および 移住者向け住宅ローンの取扱開始

当行は、地方創生に対する取組みの一環として、平成27年6月、岐阜県と「移住定住促進に関する協定」を締結すると同時に、岐阜県への移住専用の住宅ローン〈清流の国ぎふ移住プラン〉の取扱いを開始しました。通常の申込条件

となる「勤続年数の条件を撤廃」して、移住希望者への窓口を広げました。既に、本ローンの取扱実績があがっています。



「NOBUNAGA 21 地域経済 活性化セミナー」の開催

平成28年2月、ベンチャー企業、起業家の発掘・育成をはかり、地域経済の活性化・発展に貢献することを目的として開催しました。本セミナーでは創業者向け助成金「第1回 NOBUNAGA ファーストステージ」の受賞式、「第11回 NOBUNAGA21 ニュービジネスプラン助成金」の受賞式と最優秀企業さまのビジネスプレゼンテーション、および株式会社買取王国代表取締役社長 長谷川和夫氏より、「『価値再生感動創造業』～買取王国の成長の軌跡と未来への挑戦～」と題した講演を行いました。



様々なセミナーで有益な情報を提供

お客さまのニーズに合った
タイムリーなセミナーを開催しています。



十六銀行は、
お客さまのご要望に応えた
セミナーをたくさん
用意しているんだよね！

じゅうろく
PFI/PPP
セミナー

じゅうろく
経営戦略
セミナー

相続
プレミアム
セミナー

事業承継
セミナー

メディカル・
ヘルスケア
マッチング
セミナー

TKC・
じゅうろく
マイナンバー
セミナー



未来の地域発展に
つながるセミナーだね！





地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行のCSR

地域の皆さまとのお取引状況

地域経済のために

海外業務

地域社会のために

地球環境のために



海外業務

アジア新興市場の拡大により、お取引先さまの海外販路開拓・海外現地生産への取組みが広がっています。十六銀行では香港、上海、シンガポール、バンコクの4駐在員事務所および9か国にまたがる13の提携金融機関による海外サポート体制により、お取引先さまと海外とを結びつける取組みを一層強化していきます。（平成28年3月31日現在）

十六銀行は、皆さまの海外業務・海外事業を支援いたします。



1

香港貿易発展局との業務提携

平成28年1月、香港貿易発展局と、お取引先さまの海外販路開拓支援、貿易・投資情報の提供を目的とした「相互協力の合意書」を締結しました。香港は中国本土をはじめ、アジア市場へのゲートウェイとしての機能を有し、農水産物など日本からの輸出も多く、日本の食品や製品の有望な市場の一つとして注目されています。

同局との連携により、海外でのビジネスチャンス創出を支援していきます。



香港貿易発展局 クレア・ウォン副総裁と
村瀬頭取



2

ベトナム計画投資省 外国投資庁との業務提携

平成27年11月、ベトナム計画投資省外国投資庁と、お取引先さまのベトナム進出支援および現地ビジネスの支援体制強化を目的とした業務協力協定を締結しました。

ベトナムはチャイナプラスワンの有望な候補先として注目を集めており、進出を検討されるお取引先さまも増加しています。同庁との連携により、ベトナム進出および現地でのビジネス展開をサポートしていきます。



調印式の様子

グローバルな対応が必要とされているんだねー!

3

海外現地事情報告会の開催

平成27年3月、シンガポールおよびバンコクに、当行として約20年ぶりとなる海外駐在員事務所を開設し、香港、上海とあわせ海外4拠点体制となったことを機として、現地事情報告会を平成27年10月に開催しました。海外駐在員事務所長が、現地で多くのお取引先さまや関係機関と接する中で得られる生の最新情報を発信することで、海外ビジネス展開に役立ていただくことを目的としています。



講演するシンガポール事務所長

国内でも積極的な活動が行われているよ!

5

「インバウンド・ビジネス戦略セミナー in 高山」を後援

平成27年7月、株式会社十六カードが主催した「インバウンド・ビジネス戦略セミナー in 高山」を後援しました。

観光ビザの発給条件の緩和や円安を背景に、訪日外国人観光客が大幅に増加しているなか、インバウンドのビジネスチャンスを取り込むポイントとして挙げられる外国人観光客への決済環境の整備方法について、情報提供を行いました。



境の整備方法について、情報提供を行いました。

ジャパンブランドを知って
もらえるチャンスですよ!





地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行のCSR

地域の皆さまとのお取引状況

地域経済のために

海外業務

地域社会のために

地球環境のために



地域社会のために

「夏休み親子特別企画」

《じゅうろくキッズフェスタ!》について

平成27年7月に、当行の栗野研修所にて「夏休み親子特別企画」《じゅうろくキッズフェスタ!》を開催しました。6回目となる今回は、応募総数690通の中から、抽選で2日間合計100組200名さまをご招待しました。

実際に営業店で使用している端末機で「通帳作成模擬体験」を行ったほか、「お金に関するクイズ」や「親子で学ぶお金塾」を開催し、お金の大切さや銀行の役割について楽しく学んでいただきました。

また、「当行卓球部に親子で挑戦」や「食品サンプル作り」「カブトムシふれあい体験」などを通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。



十六銀行は、豊かで住みよい地域社会の健全な発展に貢献しています。

閉館していた地域の音楽ホールに「クララザールじゅうろく音楽堂」として再び灯がともりました

平成26年10月に、地域に愛され惜しまれながら閉館となった音楽ホールが、地域からの存続を望む多くの声を受けて、平成27年11月に「クララザールじゅうろく音楽堂」として再開しました。

このホールは本格的なクラシック音楽専用のホールであり、今後は地域の若手音楽家の活躍の場として活用し、また著名な演奏家を招聘するなどして、地域文化の向上に努めてまいります。



卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟しています。

平成27年度は、「全日本実業団卓球選手権大会」で3位入賞、「全日本卓球選手権大会」では準優勝を果たしました。



また個人では加藤杏華選手

が「全日本卓球選手権大会」で福原愛選手をはじめとする強豪に勝利し、堂々3位入賞を果たしました。

競技活動と併せて、地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上に努めています。

地域に根ざしたスポーツや文化活動を応援しています!!



「ぎふ清流ハーフマラソン」に協賛し、各種イベントを開催

平成27年5月に開催された「第5回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」に地域貢献を目的として協賛しました。プレイベントとして高橋尚子ロードにてランニングクリニックを開催しました。抽選で選ばれた男女100名さまが参加し、高橋尚子ロードを実走しました。講師を招いて、完走のためのコツやタイムの縮め方、暑さ・給水対策などの講習を行い、本番に向けた応援をさせていただきました。また、地元の高校生と共同でブースを運営し、高校生が企画・販売したベグルの売上金相当額の一部を当行が東日本大震災の復興支援義援金として寄付するという取り組みをしました。





特殊詐欺被害防止の呼びかけ



各地域で清掃活動を積極的に実施



幼稚園児がちびっこポリスとなり特殊詐欺防止を広報

地域に根ざした 様々な貢献活動

地域密着
してます!



地域の有力選手に当行卓球部が
卓球教室を開催



地元の「みこしパレード」に参加



11歳以下対象の
じゅうろくカップU-11
サッカー大会開催

「じゅうろくプロムナードコンサート」の開催



地域の皆さまに、
芸術・文化に触れて
いただく機会を提供
することを目的とし
て、平成27年10月
に、愛知県芸術劇場
コンサートホールに
て開催しました。

今年で19回目となる本コンサートには、応募総数
4,603通の中から550組1,100名さまをご招待し、
“名フィル”の愛称で親しまれている東海地方を代表
するオーケストラ「名古屋フィルハーモニー交響楽団」
と、マルチな才能で活躍するヴァイオリニスト川井郁
子氏、実力・人気と
もに日本を代表す
るピアニスト菊池
洋子氏を迎え、迫
力ある演奏をお楽
しみいただきました。



公益財団法人十六地域振興 財団による地域貢献活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を
目的として設立され、地域における産業振興、
社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際交
流などの活動に助成しています。平成27年度
は30件、668万円の助成実績となっています。

また返還不要の奨学生支援事業も行っており、平成27年度は62名の奨学生に対して、年
間2,500万円の奨学金を給付しました。

奨学生決定
証書授与式



様々なイベントを
開催しています!
参加してみてください。



「第10回 全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 岐阜大会」の開催

岐阜県内の高校生に、楽しみながら金融経済を学ん
でいただくことを目的として、平成27年12月、岐阜
市の「みんなの森 ぎふメディアコスモス」において開催
しました。岐阜大会は今回で6回目の開催となります。

当日は、17チーム・34名が筆記クイズや早押しクイズ
などを通して金融経済の知識を競い合いました。

優勝チームは、平成28年2月に開催された全国大会
において“ベスト8”に入る大活躍を果たしました。





地域の皆さまとじゅうろく

十六銀行のCSR

地域の皆さまとのお取引状況

地域経済のために

海外業務

地域社会のために

地球環境のために



地球環境のために

「環境方針」の制定

当行は平成25年4月に当行グループ全体の「環境方針」を制定しました。
この「環境方針」に掲げた「基本理念」や「行動指針」に基づき、本部・営業部店の全役職員が、目標を持って環境保全問題に取り組んでいます。

燃料電池自動車「MIRAI」を2台導入しました

平成27年7月、当行に岐阜県内ディーラー第1号となるトヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」が納車され、本店ビルで納車式を行いました。「MIRAI」は、水素で作った電気で行き、走行中に二酸化炭素を出さないなど優れた環境性能を誇る燃料電池自動車で、環境に配慮する取組みの一環として導入しました。

十六銀行は、お客さまの様々な環境活動を支援します。



「エコがつながる種まきプロジェクト」(環境保全活動)

当行は、岐阜大学、岐阜市地球温暖化対策推進委員会と連携して、平成26年5月より、「エコがつながる種まきプロジェクト」を展開しています。平成27年度は、前年度にお客さまが咲かせて採取したあさがおの種、約45,000粒をお送りいただき、これを岐阜市内の37店舗で配布しました。平成27年度はFC岐阜も連携に加わり、長良川競技場で行われたFC岐阜の十六銀行サクスマッチでも、あさがおの種を配布しました。

今後も、このプロジェクトを続け、お客さまとともに環境保全活動を行っていきます。



人から人へ、緑を増やす活動です!

環境方針

●基本理念

十六銀行グループは、環境保全への取組みを社会全体で果たすべき責務であると認識し、地域社会に奉仕する良き企業市民の責任として、事業活動を通じて環境問題に誠実に取り組むことで、持続可能な社会の形成に貢献するとともに企業価値の創造につなげます。

●行動指針

1. 環境関連の法律、規則、協定等を遵守します。
2. 環境保全への取組みは経営課題のひとつであると認識し、活動の情報開示に努めます。
3. 自らの企業活動による環境への影響を正しく捉え、省エネルギー・省資源等の環境負荷の軽減に努めます。
4. 環境に配慮した金融商品・サービスの開発・提供を通じ、お客さまの環境保全の取組みを支援します。
5. 長期的な視野に立ち、幅広く社会と連携・協力し社会貢献活動を推進します。
6. 役職員一人ひとりの環境意識の向上をはかるため、啓発・教育を行います。

「エコ活動啓発ポスターコンクール」(環境啓発活動)

平成27年12月、岐阜大学との連携活動として、環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的とした「エコ活動啓発ポスター」の募集を岐阜大学附属小・中学校の生徒を対象に行いました。多数の応募の中から、表彰作品を決定し、受賞した生徒一人ひとりに対して表彰状と副賞を贈りました。

また、表彰作品の一部をもう一つの連携活動である「エコがつながる種まきプロジェクト」の配布物にも掲載しています。本活動は、5回目の実施となりますが、今後も岐阜大学との連携活動として継続的に取り組み、より一層環境保全を広める活動を進めていきます。



表彰式の様子



中学校部門



小学校部門

左のポスターは、エコ活動啓発ポスター表彰作品です!

